

日本語と韓国語のフィラーの対照研究

—「まあ」と「뭐」を中心に—

金 聖実

【キーワード】

フィラー、「まあ」、「뭐」、スキーマ

【要旨】

本稿では、日本語のフィラー「まあ」と、それと対応関係を持ち、機能面で類似性を有する韓国語のフィラー「뭐」を中心に上げる。そして、スキーマを見つけ出し、そこから「まあ」と「뭐」の相違点を探っていく。

まず、「まあ」と「뭐」のプロトタイプ用法から考察を行うが、勧誘文の文頭に現れる「まあ」、文末に現れる「뭐」をプロトタイプ用法として扱うことにした。さらに、「まあ」と「뭐」の様々な用例を取り上げ、より詳しい分析を行うことによって、「まあ」と「뭐」のスキーマを抽出することができた。

次に、そのスキーマが合理的なものであるかどうかを検証するために、拡張事例において、再検討を試みた。そして、「まあ」と「뭐」の位置の問題について考察した。「まあ」が文末で現れないのは、「まあ」には「進行を止める」機能があるためである（文末には止める対象となる進行がない）一方、「뭐」が文末に現れるのは、「뭐」には「進行を止める」機能がないため、その位置がより自由であるためである。「뭐」は、当該発話が中心的情報ではなく、副次的情報であることを示す。

最後に、外国語教育におけるフィラーの指導方法について検討した。筆者による結論は、学習者がすぐ習得できるような「あー」「えーと」などのフィラーに関しては、「タスク先行型」の教授法が、一方、面によって異なるニュアンスを表す「まあ」などのフィラーに関しては先に提示・説明をする「先導入型」の教授法が望ましい、というものである。

1. 研究目的及び論文の構成

本研究は、日本語のフィラー「まあ」と、それと対応関係を有する韓国語のフィラー「뭐」の共通点と相違点を探ることを目的とする。そして、外国語教育におけるフィラーの指導方法を提案する。

第1章では問題の所在と先行研究を記述し、本稿における研究方法を提示する。第2章では、「まあ」と「뭐」のスキーマを抽出するために、様々なプロトタイプ用例を分析し、第3章では、「まあ」と「뭐」の拡張事例を用いて、第2章で抽出した両者のスキーマについて再検討をする。第4章では、日本語教育現場において、従来のフィラーの指導方法を論じた上で、筆者の結論を述べる。最後に、第5章では、まとめと課題について記述する。

2. はじめに

日常会話で現れる日本語のフィラー「まあ」と韓国語のフィラー「뭐」は多くの場合、お互いに訳されることが多い。それは概言すると、「まあ」と「뭐」は同じ機能、用法を有することを意味するだろう。しかし、両者が対応関係を有しない場合もあることが、それらの基本機能が完全に一致するわけではないことを示す。

次の(1)と(2)は「뭐」と訳すことができない場合である。

(1) <初対面で、食事をするとき>

まあ、飲んでください。

a) *뭐, ^{のみ}마시 ^{なさい}세요. (非対応)

b) 음, ^{のみ}마시 ^{なさい}세요. (対応)

(2) <進学について、相談に来た学生に向かって>

まあ、座ってください。

a) *뭐, ^{座って}앉으 ^{ください}세요. (非対応)

b) 자, ^{座って}앉으 ^{ください}세요. (対応)

本稿では、スキーマという観点から「まあ」と「뭐」を中心に対照する。まずは、本稿における「まあ」と「뭐」のプロトタイプの用法を示し、また、様々な用法を用いて、「まあ」と「뭐」のスキーマを抽出する。その上で、「まあ」と「뭐」の拡張事例の分析を通じて、それらのスキーマについて再検討を行う。また、本稿のもう一つの論点は、外国語教育へのフィラーの応用である。フィラーは会話中の欠かせない非常に重要な発話要素であるため、日本語教育現場や韓国語教育現場において、どのように教授すればいいのか、ということ进行考察する。

2-1 問題の所在

①韓国語の「뭐」は発話の文頭、文中、文末、いずれにも現れるのに対し、日本語の「まあ」は文末には現れないが、それはなぜだろうか。

(3) A : 今お時間よろしいでしょうか？

B : **まあ**、そうですね、大丈夫です。

B' : そうですね。**まあ**、大丈夫です。

B'' : #そうですね、大丈夫です。**まあ**。 (作例)

(4) A : 締切過ぎてるんだけど。

B : a. **まあ**、明日までには完成させますよ。

b. ??明日までには完成させますよ、**まあ**。 (冨樫 2002 : 20)

一方、韓国語「뭐」はよく文末に出現する。

(5) A : ^{ヒョンゾン}현정 ^가이 ^君너 ^{綺麗 (に)}예뻐 ^{なっ}졌 ^た다.

B : ^{元々}원래 ^{きれい}이뻐 ^{です}는데요 ^よ뽀.

^{イハンキム}(이한규 1999 : 153)

B' : ??元々綺麗だったんですよ。**まあ**。

②1990年代より、日本語学習者の増加のため、フィラーの研究は進んできたが、日本語教育と韓国語教育現場では、フィラーの教育があまり行われていないのはなぜだろうか。外国語教育現場において、フィラーはどのように教授すればいいだろうか。

2-2 先行研究

一部：フィラーの研究はいつから始まったか	
日本語のフィラー	韓国語のフィラー
第2次世界大戦後（1950年から）話し言葉が研究対象となるにつれ、フィラーに着目するようになる。	1990年代後半より、談話標識の研究が盛んになり、その中で、フィラーという語にも注目することになる。
二部：従来のフィラーの研究について	
小出（2009）は、フィラーとしての「まあ」には、暫定性表示という機能が保たれているが、その表示は、これから行おうとしている自身の発表行為に対して付けられるようである、と述べている。	
加藤（1999）は「まあ」の基本機能は「とりあえずの反応」と述べている。「応答型用法」の「まあ」は相手の発話内容に対する受け取り方として、その「とりあえずの反応」が発話の冒頭に現れ自分の発話内容を発展させていく。一方、「展開型用法」の「まあ」は、「とりあえずの反応」が発話内の文頭・文中に現れ、自分の主張、見解を発展させて、聞き手に伝える、と述べている。	
大工原（2010）では、但し書き的「まあ」は心内行動との対応づけができず、副詞的であり、なだめ用法の「まあ」（相手への理解を示しつつ相手の行為・状態を制する役割；ex. まあ、落ち着いて）をフィラーとしてみなしているが、大工原自身も認めているように、なだめの「まあ」も但し書きの「まあ」として、但し書きを加えて十分に解釈することができる。また、大工原（2010）は、日本語教育におけるフィラーの指導の必要性と指導の方法論について言及している。	
구종남（クゾンナム（2000））は、談話標識の「뭐」は平叙文、疑問文、命令文、勧誘文いずれにも現れ、その特徴は、語彙的意味を表わさないため、命題的意味に影響を及ぼさない要素である；具体的談話状況で使用される；文の中で出現位置が自由である；文内の他の要素と文法的関係を持っていない；独自の機能を持っている、つまり、談話上、話者の心理的態度を表す、と述べている。	
이한규（イハンキュウ 1999：137）では、「뭐」の基本意味を「（何か）確実ではない」と述べている。また、すべての談話標識としての「뭐」は、場面によって意味が違うものであるが、それらは「뭐」の基本的意味から推論できるものである、と指摘している。	

表1 先行研究の概要

2-3 研究方法

I. 文献収集

II. ニュースと留学生のための聴解テキストを資料として扱う

III. コーパス利用

朝日新聞コーパス、読売新聞データベース、マルムンチ（말뭉치）コーパス

3. スキーマとプロトタイプの考察

本稿では、フィラーの定義について、「本来の語彙的な意味から離れて用いられ、それを削除しても発話全体の命題的な意味が変わらないような語句」という野村（1996：93）の定義を踏まえ、以下のように規定する。

フィラーとは「述語と格関係を結ばない位置（文間や節間）に現れる、発話に対する態度を表すもの」である。

3-1 日本語と韓国語のフィラーの全体構造

日本語と韓国語のフィラーの特徴は類似性を有する。特に派生系のフィラーは、自立要素が変化したものであるが、モダリティ副詞などのように、もともと文内にあった何らかの呼応関係が緩くなり、さらには呼応が消失することによって文内の位置付けを失い、フィラー化する、という特徴が見られる。

3-2 「まあ」のプロトタイプ用法

本稿における「まあ」のプロトタイプとは、命令文、勧誘文、依頼文の発話文頭に現れるものを指す。

- (7) <興奮している相手に向かって>

まあ、落ち着いてください。 (大工原 2009：129)

- (8) <話が長く続く場面で>

まあ、話の続きは、今度会ったときにでも。 (大工原 2009：146)

3-3 「 뭐 」のプロトタイプ用法

本稿における「뭐」のプロトタイプ用法とは、頻繁に使用される、文末に現れる「뭐」を指す。

- (9) A : ^{ヒョンボン}현정 ^가이 ^君너 ^{綺麗 (に) なっ}예뻐 ^た졌 다.

B : ^{元々}원래 ^{きれ}이뻐 ^{です}는데 ^よ요 ^{イハンキュウ}뭘. (이한규 1999：153)

- (10) A : ^{オイ}야, ^私나 ^{除隊}제대 ^{した}한 ^後뒤 ^に로 ^{部隊}부대 ^{雰囲気}분위기 ^{ちょっと}좀 ^{生きた}살았 ^の냐?

B : ^{軍隊}군대 ^{まあ}뭘 ^{全く}똑 ^{同じ}같 ^{です}죠 ^뭘.

マルムンチ 高麗 大学校 教養 国語 作文 国語 国問 学科
(말뭉치, 고려 대학교 교양 국어 작문 (국어 국문 학과))

3-4 「まあ」と「뭐」のスキーマ

2-2 と 2-3 の両言語におけるプロトタイプ用法を観察し、なぜ「まあ」は文末に現れないのか、なぜ「뭐」は文末に現れるのかという点について、両者のスキーマから解釈することができる。

つまり、(3) (4) の「まあ」が文末に現れると不自然に思われるのは、「まあ」には「進行を止める」という基本機能があるためであり、発話の文頭、文中には止める対象となる進行が必ず存在するからである。一方、文末には止める対象となる進行が存在しないため、違和感を覚えるのである。

一方、「뭐」には「進行を止める」機能がなく、その発話自体が副次的情報であることを表すため、その出現位置がより自由となり、文末に現れることも可能となる。

フィラー	スキーマ
まあ	とりあえずの代替案を提出するために、進行しているものを止めること。
뭐	当該発話が副次的情報であることを表す。従って、当該発話はとりあえず性のニュアンスを帯びることになる。

表2 「まあ」と「뭐」のスキーマ

4. 「まあ」と「뭐」の拡張事例の考察

4-1 注釈の「まあ」と「뭐」

注釈とは、補足すること、さらに説明することであり、発話内容に、副次的情報を加えるものである。

- (11) 語用論では、聞き手による inference、まあ、解釈、の過程を解明することが重要なわけです。(大工原 2010 : 149)

- (12) ^{どうせ}기왕 ^{なら}이면 ^ば은 ^{ちょっと}좀 ^{目立つ}튀는 ^歌노래 ^に로, ^{ちょっと}뽀 ^{爽やかな}좀 ^歌신나는 ^に노래 ^{拍手}로, 박수
^{叩き}치 ^{ながら}면서 ^{聞く}들을 ^{こと}수 ^{できる}있는 ^歌노래. (말뭉치.아침 ^朝마당 ^{広場}토요일 ^{土曜}와이드)

(11) において「まあ」は、話し手が英語の inference の訳語として日本語の「解釈」を選択し、inference についての解釈を加えている。その解釈を入れるために、「まあ」で進行を止めているが、話し手自身の継続する発話内容をいったん止めることで、聞き

手の理解を助ける。このように、発話中、進行を止め、注釈を入れることによって、発話意味をより分かりやすく伝えている。

(12) の前半で話し手は、音楽を聴くなら、もっと目立つ音楽を流すように、と勧めている。後半では「 뭐 」を伴って、前半で言った「目立つ音楽」とは、どのような音楽であるかについて、「爽やかな音楽」「拍手をしながら聴ける音楽」などのような解釈を挿入し、聞き手にもっと分かりやすい説明を与えている。「 뭐 」は、それが含まれる発話自体が中心的情報を表すものではなく、その中心的情報を補足するための副次的情報であることを表している。

4-2 例示の「まあ」と「뭐」

例示が行われるところに現れるものである。

(13) <アメリカにいたころの暇な時間の過ごし方を聞かれて>

アメリカではあの一、**まあ**、友人とあったりとか、**まあ**本を読んだりとか、**まあ**、映画を見たりとか… (小出 2009 : 19)

(14) a : 우리 ^{私達}도 ^も노후 ^{老後}준비 ^{準備}를 ^を해야 ^{しなければ}하는데 ^{いけないんだけど} 뭐 ^何할 ^{しょう}까?

b : 뭐 ^{旅行}여행 ^も도 ^{する}하 ^し고 뭐 ^{運動}운동 ^も도 ^{する}하 ^し고 뭐… (이한규 1999 : 13)

(13) はアメリカにいた頃の自分の暇な時間の過ごし方について、様々なことを挙げている。その例ごとに「まあ」が現れるが、「友人と会う」「本を読む」「映画を見る」などの経験をしたことを伝えている。ここで、特に「まあ」を使用しなくても、話し手の質問に答えることができるが、例を示すために、進行を止めることになる。言い換えると、進行を止めるというより、進行を変えて発話をしている。実際に、進行を変えらることは、進行を止めることによって変えるのである。

(14) では老後の準備として、旅行、運動などを挙げている。ここで、相手の質問に対し、答え手は十分に考えた意見を述べるのではなく、とりあえず暫定的な回答を示していて、発話の本気度が下がっている。つまり、答え手が挙げている「旅行」や「運動」などは、中心的情報ではなく、副次的情報である。

4-3 見解表示の「まあ」と「뭐」

自らの見解を述べるところに現れ、暫定的なものとして提示することで、主張を和らげようとするものである。

- (15) 学生を対象にした調査でも、恋人がいるのが約3割という結果が出ていて、今回の調査結果も、**まあ**これくらいだろうと感じた。 (読売新聞 2016.10.05)

- (16) ^{だから}그러니까 ^{ここ}여기 ^が가 ^{実は}사실 ^{地盤}지반 ^が이 ^{弱い}약 ^{です}해요 ^{風水的}풍수적 ^に으로 ^{堅い}단단한
^地땅 ^{では}이 ^{ない}아니 ^し지 ^{でも}그래도 ^{どう}뭘 ^地어때 ^価땅 ^は값 ^{大丈夫}은 ^{だろう}괜찮 ^{祭り}잖아
(^{マルムンチ}말뭉치 ^{毎日}날마다 ^{祭り}축제)

(15) では、前半において、今の学生達はどれくらい恋をしているかという調査結果について、「約3割の学生が恋をしている」と述べている。後半では、話し手はその調査結果に基づいて、今回の調査結果を「大体同じくらいだろう」と推測している。文末の「だろう」という表現は、自分の意見を述べるときに使用する表現であるため、「まあ」がなくても、発話自体が「見解表示」を表すことが分かる。しかし、この発話で「まあ」が現れるのは、話し手が自身の意見を述べるために、進行を止める必要があると考えているからである。

(16) は地盤が弱い、地価が安いから、その土地を買ってもいいのではないかと、という話し手の意見を伝えている。とはいうものの、話し手は自分の意見を素直に言うのではない。発話中の「地盤が弱い」「地面が風水的に硬くない」「地価が安い」などの情報は、話し手の発話意図を伝達するための暫定的なものであり、副次的情報として現れるものである。従って「뭐」が現れる発話自体は、中心的情報ではなく、それを補うための副次的情報であり、自身の主張を和らげる役割を果たしている。

4-4 引用の「まあ」と「뭐」

相手の発話を引用する時に現れるものである。これは、相手の発話をとりあえず認める、という暫定性に基づくものである。

- (17) A : 日本でリンゴといたら、青森ですかね。

B : **まあ**、やっぱり、青森ですね。もっとも、長野や岩手も有名ですけどね。

(作例)

- (18) A : ^{ヒョンゾン}현정 ^が이 ^君너 ^{綺麗 (に)}예뻐 ^{なっ}졌 ^た다.

B : ^{元々}원래 ^{きれい}이뻐 ^{です}는데 ^よ요 뭐.

(^{イハンキョウ}이한규 1999 : 153)

(17) では、A が B に、日本のリンゴの名高い産地として一番有名な場所が「青森ですかね」と確かめている。B はとりあえず A の発話「青森である」を引用し、認めているが、それは A の発話に対する暫定的な、とりあえずの代替案を示すものである。答え手 B は、そのとりあえずの代替案を提示するために、「まあ」によって進行を止めている。

(18) では、B は A の「きれいだ」という発話を引用している。このような発話は、話し手が自身の能力や存在を自ら褒めても聞き手のフェイスを脅かさないほど近い関係で使用可能となる。B は A に褒められた後、A に何らかの反応を表わそうとして、相手の発話に素直に賛成せず、ただ副次的情報を表し、とりあえずの反応を伝えている。

以上の分析をまとめると「まあ」と「ㄱ」のスキーマは次の表 3 のような共通点と相違点があることが分かる。

スキーマ	まあ	ㄱ
進行を止める	○	×
副次的情報であることを表わす	○	○

表 3 「まあ」と「ㄱ」のスキーマの対照

5. 外国語教育へのフィラーの応用

5-1 日本語教材でのフィラーの扱いについて

本章で扱う資料は「留学生のためのアカデミック・ジャパニーズ（中級・中上級・上級）」という聴解テキストである。この教材の中で扱われているフィラーを観察すると、様々なフィラーが出現しているが、「まあ」は上級にしか出現しなかった。それは、フィラーは習得過程において順序があるからであり、「まあ」は上級のレベルで初めて習得できるものだからである。

5-2 外国語教育におけるフィラーの指導方法

本節では、外国語教育現場において、フィラーを効果的に指導するための方法について検討するが、大工原（2010）、山内（2005）のフィラーの指導方法論を参考にする。まとめると表 4 のようになる。

	大工原（2010）	山内（2005）
教授法	導入先行型 ¹ 教師による提示・説明→運用・調整	タスク先行型 タスクを取り上げる→文法や表現の導入を行う
メリット	多様な発話効果を持つフィラーに関しては、先に導入し、学習者に理解してもらう。	「タスク先行型」教育を行うことによって、学習者が本当に必要としている文法項目を発見し、それを導入することができる。
デメリット	すべてのフィラーの用法について体系的な説明をすることは難しい。	各レベルに習得できるフィラーがあり、習得難易度の異なるフィラーもあるため、タスク遂行中、その場に即した適切な表現が必ず使用されるとは言い難い。
本稿におけるフィラーの教授法	大工原（2010）の「導入先行型」と山内（2005）の「タスク先行型」を組み合わせて実施する。	

表 4 従来の指導方法論に基づいた本研究におけるフィラーの教授法

6. まとめ

本研究では、日本語のフィラー「まあ」と、それと対応関係を有する韓国語の「뭐」を中心に上げ、スキーマを抽出して、そこから両者の相違点を考察してきた。その結果、「まあ」には「進行を止める」機能があることが明らかとなった。文末には止める対象となる進行がないため、「まあ」は文末に現れると不自然に感じられる。一方、「뭐」には「進行を止める」機能はなく、その発話自体が暫定的、副次的情報であることを表す。そのため、その出現位置は自由なのである。

また、従来のフィラーの指導方法論に基づき、本稿におけるフィラーの指導方法の提案を試みた。即ち、学習者がすぐ習得できるような「あの」「えーと」などのフィラーに関しては、先に提示や説明をする必要がない「タスク先行型」の指導方法が望ましい。一方、場合によって異なるニュアンスを有する「まあ」のようなフィラーに関しては、「導入先行型」の指導方法で、学習者にある程度、理解してもらった上で、コミュニケーションの活動を行う、という教授法が望ましいだろう。

本稿の範囲は、日本語の「まあ」と韓国語「뭐」の対照研究に留まるが、今後は、中国語のフィラーとの対照研究も行い、各言語における様々なフィラーのスキーマについて、体系的な考察をしたい。

¹ 「導入先行型」教授法：筆者が名付けた大工原（2010）の提唱する教授法。

参考文献

- 加藤豊二 (1999) 「談話標識「まあ」についての一考察」『日本語学・日本語教育論集』6, pp.21-36. 名古屋学院大学
- 川上恭子 (1993) 「談話における『まあ』の用法と機能 (一) —応答型用法の分類—」『園田国文』14, pp.69-79. 園田学園女子大学
- 川上恭子 (1994) 「談話における『まあ』の用法と機能 (二) —展開型用法の分類—」『園田国文』15, pp.69-79. 園田学園女子大学
- 小出慶一 (2009) 「現代日本語の意味・用法の広がりに関する記述的研究—多機能化, フィラー, フィラー化—」『日本・アジア研究』6, pp.1-37. 埼玉大学大学院文化科学研究科博士後期課程紀要
- 土屋菜穂子「日本語学習者のインタビュー応答時における言い淀み使用」『日本語教育学会』
https://www.ninjal.ac.jp/event/specialists/project-eeting/files/JCLWorkshop_no3_papers/JCLWorkshop_No3_20.pdf
- 野村美穂子 (1996) 「大学の講義における文科系の日本語と理科系の日本語—「フィラー」に注目して—」『文教大学教育研究所紀要』5, pp.91-99. 文教大学
- 野田尚史 (2005) 『日本語教育文法』くろしお出版
- 山根知恵 (2002) 『日本語の談話におけるフィラー』くろしお出版
- 山内博之 (2009) 『プロフィシェンシーから見た日本語教育文法』ひつじ書房
- 大工原勇人 (2010) 「日本語教育におけるフィラーの指導のための基礎的研究—フィラーの定義と個々の形式の使い分けについて—」神戸大学大学院国際文化科学研究科博士論文
- 富樫純一 (2002) 「談話標識「まあ」について」『筑波日本語研究』7, pp.15-31. 筑波大学
- 이한규 (1999) 「한국어 담화표지어 ‘뭐’의 의미」『담화인지언어학회』6-1, pp.137-157. (「韓国語談話標識語「まあ」の意味」『談話認知言語学会』)
- 구종남 (2000) 「담화표지 ‘뭐’의 문법화와 담화기능」『국어문학』35, pp.5-32. (「談話標識「まあ」の文法化と談話機能」『国立文学』)

資料

- コーパス：朝日新聞記事データベース 「聞蔵Ⅱビジュアル」
読売新聞データベース 「ヨミダス歴史館」
국립국어원 말뭉치 코퍼스 (国立国語院 マルムンチ コーパス)
- 新聞： 동아일보 (東亜日報)
- ニュース：URL： <https://www.youtube.com/watch?v=Da5hQK3N968>
<https://www.youtube.com/watch?v=c2ZKDcKfguQ>
URL： <https://www.youtube.com/watch?v=Q1detv7NoQY>
- テキスト：留学生のためのアカデミック・ジャパニーズ聴解 (中級/中上級/上級)

(埼玉大学大学院人文社会科学研究科博士前期課程)